

DV FACT

1. DV と女性

- a 女性の 24.9%が夫やパートナーから、殴られるなどの身体的暴行を受け、33.2%が“身体的暴行”“心理的攻撃”“性的強要”のいずれか1つでも受けたことがある。

(内閣府 男女間における暴力に関する調査 H21 年 3 月)

- b 在米日系女性の DV 被害率：身体的暴力 52%、「何らかの暴力」61%

(吉浜 DV 調査 1999、2002)

- c 女性の 4.4%は夫やパートナーからの暴力により「生命の危険」を感じたことがある。

(内閣府 同調査 H21 年 3 月)

- d 殺人件数 944 件中夫婦間殺人は 184 件、うち女性の被害者は 114 件。傷害致死事件 110 件中夫婦間事件は 11 件、その被害者はすべて女性。

→殺人・傷害致死事件の 18.5%は夫婦間、殺される被害者の 64%は女性。

また、夫婦間の傷害事件・暴行事件 2,964 件、うち女性の被害者は 2,802 件。

(警察庁 H22 年犯罪情勢)

- e 夫に殺された女性 217 人中 98 人は、夫と別れたか別れる準備中だった。—オーストラリア・ニューサウスウェルズで。

(Wallace(1986)調査)

- f 23 件中 13 件の妻殺しは別れた時に起きている。 (Bernard.1982 フロリダ殺人裁判より)

2. DV と子ども

- a 49~70%の DV 加害者は子どもに身体的虐待を加えている。

(Straus,M.(1990)調査、Bowker,L.,Arbitell,M.,&McFerron,R.(1998)調査)

- b DV が起こる家庭の子どもは、全国平均の 15 倍もの割合で、身体的乃至性的な虐待を受けるほか、深刻なネグレクトに曝されている。 (ABA/DV)

- c DV の起こる家庭では 87%の子どもが虐待を目撃し、2次的に心理的な影響—攻撃的な言動や抑うつといった影響—を受けている。DV を目撃した男の子は成人に達した後虐待者になりやすく、暴力の世代間連鎖を起こしている。 (ABA/DV)

- d DV のある家庭の 32.1%で子どもは DV を目撃したり、音や声・様子から知っていた。

(内閣府 同調査 H18 年 4 月)

- e DV 関連の殺人の 8 件に 1 件以上の割合で 1 人あるいはそれ以上の子どもが殺害されている。

(Langford,L.,Isaac,N.E.,&Kabat,S.(1999)調査)

- f DV 加害者から娘が近親姦の被害を受ける割合は、そうでない場合の 6.5 倍に上る。

(Paveza,G.(1988)調査)

- g 近親姦加害者のほぼ半数 (44.5%から 73%) は被害者の母親にも暴力をふるっている。

(Roy,M.(1988)調査)